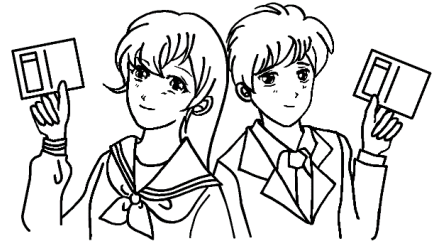


岡山市明るい選挙推進協議会機関紙

# せんきょ 岡山

No.47



## 令和五年度 明るい選挙啓発ポスターコンクール 優秀作品集

岡山県内で四三六人の応募があり、岡山市立の小・中学校からは、次の六名のみさんの作品が入賞しました。

### 特選

岡山市立富山中学校  
三年 川崎 凜さん



### 入選

岡山市立岡山中央小学校  
三年 朝浦 恵都さん



### 入選

岡山市立興除中学校  
二年 岡田 貴美子さん



### 入選

岡山市立興除中学校  
一年 根岸 優成さん



### 入選

岡山市立興除中学校  
二年 國井 日桜莉さん



### 入選

岡山市立京山中学校  
三年 尾谷 優芽さん



## 岡山市議会議員選挙を振りかえる

### 岡山市明るい選挙推進協議会

会長 岩淵 泰



令和五年四月九日、岡山市議会議員選挙が行われた。

選挙人名簿登録者数五八〇、〇〇四人、投票者数二一二、五八八人、投票率は、三七・二九%だ。投票率は、平成三十一年が、三九・四五%、平成二十七年が、四三・四四%と下がり続けている。

市民は地方政治への関心を失ってしまったのだろうか。一票を託したい候補者がいなかったのだろうか。いずれにしても、市民と地方政治の距離感をどのように埋め合わせるのかを検討しなければならない。

ただ、令和五年の岡山市議会議員選挙では、政治の新しい息吹を感じることができた。

まずは、議員四十六名の顔ぶれだ。現職が三十四名、そして、新人が十二名、四分の一の議員が新しくなった。

立候補者は五十七名であった。党派別に見てみると、自由民主党が十七名当選。公明党は八名当選。日本共産党が四名。立憲民主党が三名。日本維新の会が一名。無所属が十三名だ。

そして、注目したいのは、二十代・三十代の議員や女性議員が増えたことだ。

議員の高齢化が進むと、市民との世代間のギャップが起きてしまうので、若い議員が増えることは望ましい。

そして、様々な経験を積んだ人が、市政のまちづくりに挑戦

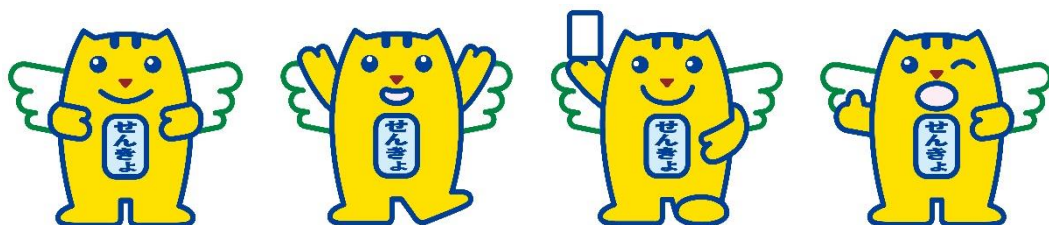
してもらいたい。

議会は、地域の縮図であり、市民の多様性が、活発に議論されることが望ましい。

投票率は低かったが、結果として、今回の選挙で岡山市議会に変化が生じた。

われわれは、議会に声を届けると共に、議員が何を発しているのかにも関心を持つべきであろう。

市民と議員の双方でコミュニケーションの機会を担保すること、それが、地域の民主主義を活性化させるのである。



明るい選挙のイメージキャラクター「選挙のめいすい(明推)くん」



# 公式 X やってます!

(旧ツイッター)



公式 X (旧ツイッター)

岡山市選挙管理委員会の公式 X (旧ツイッター) アカウントでは、選挙の啓発や主権者教育、あるいは事務局の活動など、いろいろな情報を発信しています。令和三年三月から運用を開始した当アカウントは、市民の皆さんに選挙のことをもっと身近に感じてもらうという想いで、選挙管理委員会の職員が投稿を考えています。実は奥が深い選挙の仕組みや皆さんがご利用できる投票方法等のお役立ち情報をこれからもどんどん発信していきます。